

Telemann 室内楽絵巻

テレマンの室内楽作品と共にその足跡を辿る試み

第十二段 2024年 9/28 [土]

『6つの四重奏曲』

Sei Quadri

フルートを含む編成の為に書かれた数多くの室内楽作品の中でも比類の無い魅力を放ち、テレマンの名を後世に遺すことに大きな貢献をした2冊の四重奏曲集、『6つの四重奏曲』と『6つの組曲による新しい四重奏曲』。その第1集『6つの四重奏曲』の多彩な魅力を、3人の素敵なゲストと共に送りします。

14:00開演 (13:30開場 / 16:00終演予定)

今井館 聖書講堂

JR線・地下鉄南北線 駒込駅より徒歩11分
都営三田線 千石駅より 徒歩5分
〒113-0021 文京区本駒込6-11-15

第十二段(9/28)のみ



Reiko Tsuiki



Takako Tanaka

第十三段 2024年 10/12 [土]

『続 メトーディッシェ・ゾナーテン』

Continuation des Sonates Methodiques

バロック時代の音楽を演奏する上での必須要素、緩徐楽章における任意装飾。美しい装飾、相応しい装飾とはどのようなものなのか？
テレマンらしい美しいメロディーラインに、テレマン自身が装飾例を書き示した全12曲。2月に取り上げた第1集に続き、第2集に収められた全6曲をご紹介します。

14:00開演 (13:30開場 / 15:30終演予定)

Space 415

JR線 / 地下鉄東西線 中野駅北口より 徒歩12分
〒165-0026 中野区新井2-48-12



Takashi Kaketa

二公演共通



Motoko Hosaka

9/28[土]

一般 5,000円

学生 3,000円

10/12[土]

一般 3,500円

学生 2,000円

未就学児入場不可
要事前予約・当日精算制
10/12公演のみ!当シリーズ
ご来場3回目以降500円引き



ご予約・問い合わせ ✉ kaleidoscope.chamber@gmail.com
▼ 予約フォーム QRコード (第十二段、第十三段共通)



Gaku Nakagawa

Program

第十二段 9/28 [土] 『6つの四重奏曲』 Sei Quadri

Concerto
I, TWV 43:G1 II, TWV 43:D1
Sonata
I, TWV 43:A1 II, TWV 43:g1
Suite
I, TWV 43:e1 II, TWV 43:h1

第十三段 10/12 [土] 『続 メトードイッシエ・ゾナーテン』 Continuation des Sonates Methodiques

Sonata prima TWV 41:h3
Sonata seconda TWV 41:c3
Sonata terza TWV 41:E5
Sonata quarta TWV 41:B5
Sonata quinta TWV 41:d2
Sonata sesta TWV 41:C3

第十二段 9/28 [土] 客演 Guests



築城 玲子 Reiko TSUIKI / トラヴェルソ・フルート Flauto traverso
桐朋学園大学古楽器科(トラヴェルソ専攻)および研究科にて有田正広氏に師事。2006年「北とびあ国際音楽祭」参加公演にて、7種の時代楽器を用いたリサイタルを開催。オランダのデン・ハーグ王立音楽院にてB.Kuijken氏に師事。バツハ・コレギウム・ジャパン、レ・ポレアード、The Wallfisch Band(G.レオンハルト指揮)、{oh!} Orkiestra、Musicians of the Prince of Monaco (G. Capuano指揮) などに参加。2014年よりThe Bach Choir & Orchestra of the Netherlandsのメンバー。2005年ブルージュ国際古楽コンクール3位(トラヴェルソ最高位)。2007年度文化庁在外研修員。2009年国際テレマン・コンクールにおいてベーレンライター賞。猫アレルギーだが、実家にいた『はいいろ』を含む多くの猫を溺愛してやまない。www.reikotsuiki.com



田中 孝子 Takako TANAKA / バス・ドウ・ヴィオール Basse de viole
福岡県出身。フランス・グルノーブル国立音楽院古楽器科修了。ヴィオラ・ダ・ガンバをC.アルヌー、チェンバロと通奏低音をA.ピュミール、室内楽をCh.マゾー各氏に師事。欧州のマスタークラスにてW.クイケン、M.ミュラー、V.ギエルミ各氏のレッスンを受ける。読売新聞社主催第74回新人演奏会出演。フランス語の文献講読に積極的に取り組み、M.コレット著『クラヴサン奏法の師(1753)』を栗形亜樹子氏とともに抄訳。S.ミリオ著『マラン・マレ(1991)』の一部翻訳をヴィオラ・ダ・ガンバ協会会報に連載。2010年に東京でソロ・リサイタルを開催。以降、関東・仙台・福岡を拠点に演奏及び教育活動を行っている。ブログ <http://ttakako.blog83.fc2.com/>



懸田 貴嗣 Takashi KAKETA / バロック・チェロ Baroque cello
東京芸術大学院音楽研究科修了後、文化庁在外派遣研修員としてミラノ市立音楽院で学んだ。チェロをガエタノ・ナジッポ、鈴木秀美、藤森亮一の各氏に師事。イタリア・ボンポルティ国際古楽コンクールで、リクレアツィオン・ダルカディアのメンバーとして第1位と聴衆賞を受賞。バツハ・コレギウム・ジャパン、リクレアツィオン・ダルカディア、ラ・ヴェネシアーナ、横浜シンフォニエッタのメンバーとして、国内のみならずヨーロッパ諸国やロシア、トルコ、メキシコ、韓国などの音楽祭に招かれている。これまで通奏低音奏者として、エマ・カークビー、ミカラ・ペトリ、ロベルタ・マメリ、エンリコ・オノフリなど著名なソリストと共演している。CD「ランゼッティ/チェロ・ソナタ集」で第67回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。下田国際音楽コンクール、国際古楽コンクール山梨の審査員を歴任。メンバーをつとめるカルテット・オチェアノが「ギロヴェッツ/弦楽四重奏曲作品42」(OMF)をリリースしている。

第十二段 9/28 [土]・第十三段 10/12 [土] 共通



坂本 喬子 Motoko HOSAKA / バロック・ヴァイオリン Baroque violin
桐朋学園大学音楽学部、トロツィンゲン国立音楽大学器楽科、室内楽科、古楽科修士課程及びザルツブルグ・モーツアルテウム大学古楽科修了。南西ドイツフィルハーモニー契約団員を経て2009年に芸術家ヴィザを取得。以来フリーランス奏者として欧州各地で演奏活動を行う。札幌PMF、ドナウエッシンゲン音楽祭、シュヴェツツィンガー音楽祭、テューリンガー・バツハ週間、ザルツブルグ・モーツアルト週間等に出演。2019年より日本に拠点を移し首都圏のオーケストラ、古楽団体の公演に参加。師匠アントン・シュテックとの演奏活動を中心にドイツでの演奏活動も継続する他、台湾、韓国に招聘されるなど活動の場を広げている。



中川 岳 Gaku NAKAGAWA / チェンバロ Harpsichord
4歳よりピアノを始め、バロック音楽への強い関心から、独学でチェンバロ、クラヴィコードを学び、東京大学在学中の2014年に第27回国際古楽コンクール(山梨)の鍵盤楽器部門(チェンバロ)で第1位を受賞。審査員のグレン・ウィルソン氏より称賛を得て、2016年夏より10か月間ヴェルツブルク音楽大学にて同氏に師事。ナクソスよりソロCD「テレマン:6つの序曲集」をリリース。2019年に東京大学教養学部を卒業。バツハ・チェンバロ作品全曲演奏に取り組んでいる他、通奏低音奏者としても活躍の場を広げている。